

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	刊行物の作成適正化事業		
事業担当	総務部 行政総務課		
予算科目	0-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	1 行政情報の共有	
根拠法令等	平塚市庁内印刷物取扱要綱		
対象・受益者	職員、市民	事業期間	～ 平成27年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市が発行する刊行物が的確な手段で提供されています。		市民が刊行物を閲覧できる機会を増やすため、市のホームページなどを利用した情報提供を推進します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ホームページで内容が閲覧できる刊行物の調査、促進			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績		1	1		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	ホームページで内容が閲覧できる刊行物の割合			単位	%
	説明・算定式	ホームページでの閲覧可能件数／刊行物の全体件数×100				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績			75		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
各課が庁内印刷によるコストを事前に把握できるようにすることで、庁内印刷物(刊行物)の適正な作成や省資源・省コスト化を推進しました。また、庁内各課に刊行物作成状況に関する調査をする際に、照会文にHP活用を推進する旨を記載し、庁内に周知するなど、市民の利便性向上のための情報提供の充実を図りました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民との情報共有を進めていくためには、ホームページを活用するなどの確な手段で刊行物の情報を提供することが必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	的確な手段で刊行物の提供を行うことで、市民との情報共有が進みます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民との情報共有を進めるために、市民が刊行物を閲覧できる機会を増やすことは妥当な取組です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	作成物の作成適正化の事業自体が効率的であるかの判断は難しいと考えますが、HPの活用が進むことで、職員の窓口での対応時間が削減されるなど、職員の業務効率化につながります。	<input type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input checked="" type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 「平塚市庁内印刷物取扱要綱」に基づいた印刷物の取扱いが行われるよう、今後とも庁内への周知を進めていく必要があり、また、市民への情報提供に電子媒体を活用していく必要があります。				

### 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		ホームページ等による情報提供、 市政情報コーナーでの頒布の検討	ホームページ等による情報提供、 市政情報コーナーでの頒布の検討	ホームページ等による情報提供、 市政情報コーナーでの頒布の検討
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		—	—	—

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の事業の方向性</b> <input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<b>&lt;判断理由&gt;</b> ひらつか協働経営プランが平成27年度に終了することに伴い、行政改革事業としては終了しますが、今後も市民が刊行物を閲覧できる機会を更に増やすために的確な手段で刊行物の提供を行う取組は継続します。
<b>課長コメント</b> 行政改革事業としては終了しますが、今後も刊行物を含む印刷物について、電子媒体の更なる活用を進め、省資源・省コストの推進を図るとともに、市民の利便性向上のための情報提供の充実を図る必要があると考えます。

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	情報宅配便推進事業				
事業担当	市民部 協働推進課				
予算科目	0-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト		
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために			
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために			
	'01	1 行政情報の共有			
根拠法令等					
対象・受益者	市民	事業期間	～ 平成27年度		
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】				
目的・目標			事業の概要		
行政情報がわかりやすく提供されています。			わかりやすい行政情報を提供するため、市民の要請により職員が出向き、事業などを説明するとともに意見を交換します。		

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	情報宅配便メニューの検討回数			単位	回
	説明・算定式	メニューの改訂、重点メニュー(5項目)の作成				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	2	2	2		
	実績	2	2	2		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	情報宅配便実施件数			単位	件
	説明・算定式	-				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	41	50	52		
	実績	40	44	50		
成果指標②	指標名	情報宅配便参加者数			単位	人
	説明・算定式	-				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	960	1,100	1,110		
	実績	1,383	1,129	1,464		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
市民活動団体や自治会等に対し、主に福祉や健康に関するテーマについて21件、マイナンバー制度の基礎知識について14件等、合計50件の情報宅配便を実施した結果、目標を超える参加者があり、多くの市民に対し幅広い分野の情報提供をすることができました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と市の協働のまちづくりを進めるため、市民が求める行政情報を提供し、意見交換が出来る場として必要性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民からの意見・提案等を施策に反映できるものもあり、市民の視点からまちづくりを進めるために有効性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	担当職員が直接説明し意見交換などを行うことで、わかりやすく行政情報が提供できるため、妥当性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	メニューにない内容であっても、市民の希望する項目に柔軟に対応し、効率性は高い事業です。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 本制度が市民との協働や情報共有につながるものとして有効に活用されるために、社会情勢の変化に合わせたメニューの見直しを行う必要があります。また、メニューにない項目など市民が求める情報の提供に対応するとともに市民からの意見の把握に努め、施策への反映に努めることが求められています。				

### 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	
事業内容		情報宅配便の実施、メニュー改訂作業及び重点メニューの作成	情報宅配便の実施、メニュー改訂作業及び重点メニューの作成	情報宅配便の実施、メニュー改訂作業及び重点メニューの作成	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	起債	0	0	0	
	その他 特財	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	
事業費 (A)		0	0	0	
執行率 (%)		—	—	—	

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の事業の方向性</b> <input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<b>&lt;判断理由&gt;</b> ひらつか協働経営プランが平成27年度に終了することに伴い、行政改革事業としては終了しますが、市民と行政との情報共有を進めることは今後も必要であり、市民の知りたい行政情報をわかりやすく提供する取組を進めていきます。
<b>課長コメント</b> 行政改革事業としては終了しますが、今後も市民活動団体と行政とが意見交換できる貴重な場として、市民の求める情報の提供と施策への反映につなげるよう、庁内への周知に努めていきます。また、実施団体からの意見の把握に努め、より有用な制度としていくことを目指します。

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	広報・情報提供充実事業		
事業担当	企画政策部 秘書広報課		
予算科目	0-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	1 行政情報の共有	
根拠法令等	平塚市広報規則		
対象・受益者	市民と周辺自治体の住民	事業期間	～ 平成27年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
様々なメディアを活用することにより、市民に親しまれ、利用しやすい情報提供が行われています。		広報紙、ホームページ、CATV、FM放送、記者発表など各種メディアの特長を活かし、利用者の視点に立った情報提供を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ウェブサイトのアクセシビリティ評価			単位	評価
	説明・算定式	市ホームページの見やすさ、利用しやすさに関する外部評価				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	B	AA	AA		
	実績	A一部準拠	AA	AA		
活動指標②	指標名	映像作品制作本数			単位	本
	説明・算定式	映像作品(番組)制作本数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		7	7		
	実績		9	8		
成果指標①	指標名	ホームページアクセス件数			単位	件
	説明・算定式	市ホームページに訪問してきた件数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	4,500,000	4,800,000	5,000,000		
	実績	5,538,368	5,865,187	5,658,040		
成果指標②	指標名	You Tubeの再生回数			単位	回
	説明・算定式	当該年度にYou Tubeで新規に公開した映像作品の当該年度の再生回数合計				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		2,000	2,500		
	実績		14,055	6,363		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
各種媒体の特長を活かした情報提供を進めました。広報紙については、継続的な改善を進め、平成27年神奈川県広報コンクール広報紙・市部で最優秀を受賞しました。ホームページについては、アクセシビリティチェックを定期的に行い、引き続きJIS基準のAAIに準拠しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と行政がともに手を携えてまちづくりを進めていくためには、互いをより深く理解し、共通の理解を持つ必要があり、各種媒体による積極的な情報発信が必要です。	● 高 ○ 低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	行政情報を積極的に、わかりやすく提供することで行政運営の透明性を高めます。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	各種媒体を活かして市政情報を提供することにより、開かれた市政を推進します。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	各種媒体の活用にあたっては、媒体の特性に応じて業者委託するなど効率化を図ります。	● 高 ○ 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 各種媒体の特性、必要性や効率性を勘案して、導入、見直し、廃止等を検討していく必要があります。特に平成28年度に実施する市ウェブサイトのリニューアルにおいて、魅力あるサイトを構築するため全庁的な取組が必要です。			

### 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		広報紙の継続的改善、各種媒体の導入・廃止の検討	ホームページ更新準備・広報紙の継続的改善、各種媒体の導入等の検討	ホームページ更新準備・広報紙の継続的改善、各種媒体の導入等の検討
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		—	—	—

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合
<b>&lt;判断理由&gt;</b> ひらつか協働経営プランが平成27年度に終了することに伴い、行政改革事業としては終了しますが、今後も市内外への情報発信に向けて、各種媒体の特長にあった活用を検討していきます。
<b>課長コメント</b> 行政改革事業としては終了しますが、今後も各種広報媒体の特長を活かした情報提供を効率的・効果的に行い、費用対効果や新たな広報媒体の導入等についても検討したいと考えています。